

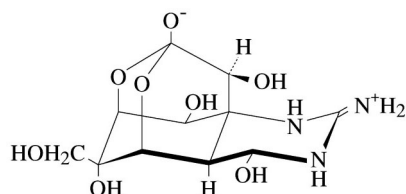
FUJIFILM

Wako

コード No. 206-11071 (1 mg)

テトロドトキシン

内 容：凍結乾燥品（くえん酸緩衝剤含有）
起 源：フグの卵巣及び肝臓。
特 性：種々な興奮性膜の Na チャネルを選択的にブロックする神経毒素です。
構 造 式：



分 子 式：C₁₁H₁₇N₃O₈ mol. wt. 319.27

生物学的活性：MLD（最少致死量）

約5,000 MU(mouse unit)/mg

1 MU¹⁾は、体重18～20 g のddY系雄マウスに腹腔内投与後、これを30分間で殺す毒量という。

LD₅₀〈マウス〉

8.7 μg/kg body weight（静脈内投与）

10 μg/kg body weight（腹腔内投与）

11.5 μg/kg body weight（皮下投与）

性 状：溶 解 性 テトロドトキシンは水又は普通の有機溶媒に不溶で、酸性溶液又はアルコール溶液には可溶です。本品はあらかじめくえん酸緩衝剤が添加されている為、水を加えるだけで溶解します。

比旋光度 $[\alpha]_D^{25} = -8.64^\circ$ (c = 8.55, 希酢酸)

分 解 性 アルカリ性溶液ですみやかに分解する。
200℃以上で褐変する。

ご使用上の注意

1. 本品は極めて毒性の強いトキシンです。本品を取扱う場合、安全ピペッター等を使用し、絶対に経口的に採取しないようにして下さい。また、使用後の器具および毒素溶液は水酸化ナトリウム溶液で毒素を分解して下さい。
2. 本品は研究用試薬ですので、ヒトには投与しないで下さい。

〔貯 法〕 2～10℃保存

〔包 装〕 1 mg（かっ色アンプル）

〔参考文献〕

- 1) 野口玉雄, 浅川学, 橋本周久：中毒研究 **2**, 145 (1989).
- 2) Kao C.Y., *et al.* : *Pharmacol. Rev.*, **18**, 997 (1966).
- 3) Cheymol J. and Bourille F. : *Act. Pharm.*, **19**, 1 (1966).

製造発売元

富士フイルム 和光純薬株式会社
大阪市中央区道修町三丁目1番2号
Tel : 06-6203-3741

1906KA1